

「浅間山麓検定 小諸編」アンケート集計結果

■ 無回答者： 7名

■ 回答者： 204名

1. このような検定の受験は初めてか？【「複数」と回答した場合回数・場所も記入すること】

初めて： 194名

複数回： 10名

※ 1回(Web)、2回、2回(松本・小諸)、2回(長野県観光ガイドタクシー検定)、2回(長野市)、2回(松本)、3回(大阪・諏訪・松本)

2. 公式テキスト小諸本の解説内容はどうだったか？

解りやすい： 188名

解りにくい： 14名

※1、固有名詞や地名にルビが無い。

※2、「乙女」の由来の説明文に「その他に次のような説もあります～…」といった文章がないと解答の説明文と混同しやすい。

※3、分かりにくい所もある。

※4、本の下の方にある説明文の文字が小さい。

※5、読み仮名がなかったので、読み方が分からなかった。

※6、解説文が要を得ていない。

※7、固有名詞の読みが小諸市街の人にはよく分からない。正しく学びたい。

※8、少し難しい問題もあった。

※9、重要なところを太くしてほしい。

※10、無駄に近い数字が多い。

※11、数字などたくさんあってややこしい。

どちらともいえない： 1名

無回答： 1名

3、問題はどうか？

易しい： 23名

普通： 134名

※『分からない問題もあった』という意見有り。

難しい： 42名

何ともいえない： 1名

※『7番の回答を参照してほしい』とのこと。

無回答： 3名

複数回答： 1名・・・「易しい」と「難しい」の両方にチェックされていた。

4、小諸本をどう活用したいと思うか？【複数回答可】

自分の住んでいる町をもっと知るため： 121名

観光ガイドブックとして： 72名

小諸を知ってもらうため： 41名

訪れた人に小諸の案内ができるように： 80名

学校での授業等に： 13名

色々な取り組みの参考に： 49名

好きな町・訪れたい町を知りたいため： 20名

近隣のことも知りたいため： 28名

その他： 4名

※1、地元を知り、長野県をもっと好きになり、多くの人に長野の良さをPRしたい。

※2、会社の朝礼で10問の問題集を作ってやった。40点～100点まで。

※3、入試が楽になるように。

※4、紙を薄くしてもっとたくさんの問題を載せるといい。80問では小諸を表せていないのではないかと？

5、検定で各級を取得した者に特典があった方が良くと思うか？

あったほうが良い： 136名

無くてよい： 64名

無回答： 4名

6、今後もこのような取り組みは継続したほうが良いと思うか？

継続すべき： 186名

※『継続しなければ全く意味がない』・『是非継続してほしい』という意見有り。

今回限り： 14名

無回答： 4名

7、その他意見等あれば自由に記入。

感想1【賛辞・賛同】

- ・故郷である小諸の街が好きなので故郷を深く知る取り組みとしてとても良いイベントだと思う。
- ・もっと早くからこのような勉強の機会が欲しかった。自分の住んでいる町、生活している所の歴史や風土や環境をもっと身近に知らなくてはならない。良い経験になった。
- ・「小諸本」は小諸をより知る手がかりとして大いに参考になった。
- ・知らなかったことをたくさん知ることができた。
- ・会場準備・試験共に大変良かった。
- ・各地でこのような検定が行なわれている。自分の住む場所のことを知ったり、興味を持つきっかけになり大変良いと思う。
- ・大変楽しく受験させてもらった。日頃暮らしている中でも気付かないことがたくさんあるなど実感した。
- ・次回も受検したいと考えている。
- ・とても楽しかった。今後も継続してほしい。
- ・たくさんの方が受験していて良かった。
- ・とても楽しめた。公式テキストブック以外にも小諸の資料を読む機会を与えてもらい感謝している。
- ・街を再発見する方法としては素晴らしい取り組みだと思う。
- ・久しぶりに学生に戻った気分で試験の緊張感を味わった。小諸市民でありながら知らない事がたくさんあった。今回の検定を受けたことで今までとは違った目で小諸を見ることができるようになったと思う。もともと歩くことが好きだったが、色々な所を歩いてみたいという思いが更に強まり楽しみが増えた。子どもたちと共に学んでいきたいと思った。
- ・面白い企画なので趣を変えるなどして継続してほしい。
- ・とても面白い企画だった。このような企画をベースに小諸が発展していけばよい。
- ・知らないことがたくさんあった。良い知識を得ることができた。
- ・楽しかった。
- ・試験勉強を久しぶりにした。楽しかった。

- ・地域の勉強ができて嬉しかった。今後もこういう機会を作ってもらえると良い。
- ・小諸人だが知らないことがたくさんあった。こういった機会があつてとても良かったと思う。
- ・とても良い体験になった。受験するにあたって環境がよく、なにより親切な指導をしてもらえてとても嬉しかった。
- ・素晴らしい取り組みだと思う。特に若い世代の参加者が多かったのが良かった。小諸もまだまだ元気になれると思った(小諸市民)。
- ・大変良い企画だった。これからも多くの人に地元へ関心をもってもらえるように色々な所でこの検定が実施されていることをPRしてほしいと思う。
- ・この検定により小諸のことがもっと分かるようになって良かった。
- ・今まで知らなかったことを色々知れて良かった。

□感想2【批判】

- ・会場が暑かった。
- ・問題をもっとたくさん小諸本に載せてもらった方が価値が上がるように思う。
- ・検定の告知が半年くらい前から始まっていたならば、もっとゆっくりテキスト等を見ながら学習できたような気がする。
- ・エアコンの臭いが気になった。
- ・楽すぎて話にならない。もっと難しい問題を出してほしい。
- ・小諸本は覚えやすかったが、残りの30問は知らない事があつて難しかった。
- ・小諸本から出題された問題があつたが、選択肢まで本の通りというのは易しすぎると思う。

□意見・要望Ⅰ【小諸本について】

- ・読めない漢字が多かったので出来ればふりがなをふってほしい。本には年表もついていた方が歴史を理解しやすかった。とても楽しかった。この検定を機に近所に興味がわいた。携帯サイトでまめ知識を閲覧できると嬉しい。
- ・説明文に誤りが有った様ですが、公式テキスト解説文を再確認して下さい。
- ・とても良い体験をさせてもらった。知らないことをたくさん知ることができて面白かった。テキストに年表など主な出来事を一覧でまとめて見れるものがあるとより分かりやすかった。
- ・検定本を徐々に充実させ、小諸を学ぶ教科書として大事な本になるようにしてほしい。
- ・小さな子どもにも分かるようにしたらどうか？テキストで分からない漢字があつたので読み仮名をふってほしい。
- ・今後に備えて出題問題を公募したらどうか？

□意見・要望Ⅱ【検定内容について】

- ・勉強の基になるテキストは欲しい。
- ・小諸本以外から出題される30問に関しては「この本を読んでおくと良い」というような参考書籍を紹介し、そこから出題するという方式でも良いのではないかと思った。(全くどこから出題されるのか不明よりは、より1級・2級を目指すモチベーションが上がると思う。)
- ・受験者に年配の方が多いようなので問題文をもう少し大きくした方が良い。
- ・問題集の問題以外にも市民ならば当然知っているべき事(人口、市役所の位置など)を広い分野で出しても良いのではないかと思う。ガイドブックに頼らずに。

□意見・要望Ⅲ【特典について】

- 合格者に対しての特典はあった方がいい。例えば認定証を見せるとタクシーや入場料が割引になるなど。(大阪検定ではすでにやっている。)そうすれば観光客も増えるし、地域の活性化にもつながるのではないだろうか？
- 例えば3級を取ることができたら、次は2級が取れるというように検定を続けてほしい。それぞれの級を取った場合は特典をつけてほしい。
- 合格者には美術館等が割引になる特典(松本検定で実施)や、市の施設の利用割引が受けられるようにしたらいいと思う。

□意見・要望Ⅳ【検定料について】

- 高すぎるので千円にしてほしい。
- 高校生も参加していて良かった。しかし検定料が高すぎる。この不況の時代では500円、千円ぐらいで良いと思う。新聞などよく読んでいないとできない問題もあり、これからは小諸関連の報道にも気をつけていきたいと思った。

□意見・要望Ⅴ【その他・検定関連】

- 各級を取得した人に活動の場を与えてほしい。小諸のPRをもっとしてほしい。(旧市街と新市街をそれぞれ分けて。)
- 浅間山麓それぞれの検定の実施(東御、御代田、軽井沢、長野原、嬭恋)。また、ランク分けて検定があっても面白い。
- 終了した人から退場するのは良くないと思う。一生懸命やっている人の気持ちを苛立たせるので次回からは全員時間内まで残るようにしてほしい。
- 解答用紙の所に何ページ目か書くべき。1時間半はとても長い。
- この検定の「権威」を上げなければ継続していかない。その為にはもっと勉強すること、続けて勉強すること、採点をもっと厳しくすること、取得した等級に対して小諸の中でできること(例、1級以上だとガイドができる等)とリンクさせていくことも考えなければいけない。3級は大体全員がとれるが、1級・2級は相当勉強をしないとイケない。「受験○回目ようやく1級までとれた…」などにより『常に勉強』するようになる。

□その他

- 小諸市を観光地として考えるならば、小諸を訪れる人に対するサービス面をもっと考慮すべき。例としては JR キップ売り場の時間の改善。10時開店で昼休み有り、閉店は18時というのは観光地としては考えられない。
- 「小諸の歴史」のような本があるか？
- 東御市編、御代田編、軽井沢編等。